

第88回 経営協議会 議事要録

日 時 令和6年3月21日（木） 13時30分～14時35分

場 所 大学本部棟第二会議室 及び オンライン

委 員 日比野克彦 学長【議長】、迫 昭嘉 理事・副学長（教育担当）、
清水泰博 理事・副学長（研究担当）、佐野 靖 副学長（社会連携担当）
大場 武 理事（総務・財務・施設担当）・事務局長、
赤羽真紀子 委員、岡田武史 委員、高橋陽子 委員、二宮雅也 委員、
御立尚資 委員、湯浅真奈美 委員、吉本光宏 委員、

陪 席 上田良一 監事、武藤弘和 監事、麻生和子 理事、国谷裕子 理事、
光井 渉 美術学部長、杉本和寛 音楽学部長、
桐山孝司 大学院映像研究科長、熊倉純子 大学院国際芸術創造研究科長、
黒川廣子 大学美術館長、大森晋輔 附属図書館長
河野文昭 演奏芸術センター長、今村有策 副学長（国際連携担当）

欠 席 中村政人 副学長（大学改革・渉外担当）
岡本美津子 副学長（デジタル推進担当）【陪席】
箭内道彦 学長特命（大学改革・ブランディング戦略担当）【陪席】

議題

1. 令和6年度運営費交付金の概要および予算実施計画書（案）について
議長から標記のことについて提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。
2. 東京藝術大学職員給与規則等の一部を改正する規則等の制定について
議長から標記のことについて提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報告及び連絡事項

1. 剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について
標記のことについて、大場理事から資料に基づき報告があった。
2. 令和5年度資金運用状況報告及び令和6年度資金運用計画について
標記のことについて、大場理事から資料に基づき報告があった。
3. 本学の取組について
議長から、芸術文化における本学の近況について報告があった。
(本学の取り組み)
 - ・ 2023/10/16-22 藝大アーツイン丸の内2023が東京丸の内で開催
 - ・ 2023/10/27 令和5年度香川県・東京藝術大学連携事業 香川県・東京藝術大学
瀬戸内海分校プロジェクト
第2回 海は人を愛する「くらしと うみ」展実施
 - ・ 2023/11/1-12/24 藝大生・幻の自画像展
 - ・ 2023/11/6-12 学生の活動を支援するオンラインチャリティーイベント

Giving Campaign 2023参加

- 2023/12/9, 16 美術愛住館ランチタイムコンサートを開催
- 2023/11/10-26 芸術未来研究場のコンセプトを展覧会の形で発表する「芸術未来研究場展」開催
- 2023/11/19 『江戸川区×東京藝大「ともにアート」プロジェクト』始動
- 2023/11/29 広島でのG7を機に共同声明～世界の7つの芸術大学によるA7 (ARTs 7) 世界平和をテーマとする作品を東京藝大アートフェスにて展示
- 2023/11/29 東京藝術大学と〈みずほ〉包括連携協定を締結
東京藝大アートフェス2023 〈みずほ〉協賛を開催
- 2023/12 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業採択
- 2023/12/6 藝大フィル ルゼンチン公演 ブエノスアイレス「コロン劇場」
- 2024/2/2 東京医科歯科大学と研究者のマッチングイベント実施
- 2024/3/21 藝大×小学館×JR 東日本がアートでつながる！藝大アートプラザ・アートアワード授賞式を上野駅13 番線『PLATFORM 13』開催

(主な意見等)

- 企業や自治体との取組で拡大されており、藝大の存在意義、存在価値を知ることができる。企業と藝大で社会に対してできることは大きい。藝大側は企業のマネジメント力や人材を活用していったらどうか。
- 資料から対外的な取組を知ることができる。また、年一回程度、既存の教育研究についての報告や、教育の結果がどのようになっているかも報告していただきたい。新しい取組と既存の取組を一緒に発信することで、予算を要求するにあたっての訴求力にもなると思う。
- 運営費交付金が減っていく中で、共同研究費、受託研究費などの獲得が重要になってきており、みずほととの包括連携協定締結なども進んでいる。
- 企業が人的資本経営の実現に向けて推進しているウェルビーイングや世界平和について、アートの力で何かできるのではないかと模索しており、藝大が期待されている。
- 藝大の進めている障害者支援のテーマは、文部科学省のみならず厚生労働省が推進していることでもあり、積極的に、関連する省庁等に、取組や可能性を知ってもらい、幅広く働きかけていきたい。
- 香川大学との連携取組は、地方創生へと着実に進んでいる。芸術未来研究場はアートを通しての未来を、地域の人や世代を超えて共に創っていけないのではないかと。
- 芸術未来研究場での地方大学と藝大との取組は、高齢化や過疎化が進む地域や限界集落を活性化することにも繋がる。香川大学との連携は、香川出身の藝大教員の交流がきっかけで、ここまで進んできた。今後、それぞれの地域にいる卒業生とも連携し取組を進め、キャリア支援も目指したい。また、香川大学との連携をモデルケースとして全国の大学と広げることができればと考えている。

以上